

カラオケ使った認知症予防研究

ツクイ、第一興商と

つ、今月下旬から12月まで全12回実施する。プログラムは第一興商が作成する。

介護大手のツクイは各施設で軽度の認知症の利用者10人と、認知症ではない10人の計20人ずつに研究に参加してもらった。特定の文字を抜かして歌ったりする約1時間のプログラムを週に1回ずつ、開始3カ月後と半年後に認知機能や滑舌、記憶力などの項目を、プログラムに参加する前の状態と比べて認知症の軽減などに効果があったかどうか分析・検証する。

検証するための共同研究を始めた。京都市や松山市、福岡市など5カ所のデイサービス施設で2017年3月まで実施し、効果が認められればツクイの他の施設にもプログラムを導入したい考えだ。